

令和5年

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

令和5年中の岡崎市における火災概況は出火件数100件、火災による焼損面積は建物2,110㎡、林野5a、損害額は2億2,029万7千円、火災による死者は1人、負傷者は15人であった。出火件数は、前年から12件増加しており、焼損面積のうち建物の数値については前年から増加しているが、過去10年平均と比較すると減少している。林野の数値についても、前年から増加しているが、過去10年平均と比較すると減少している。損害額については前年及び過去10年平均、双方の数値から増加している。（第1表）

【火災概況】

(第1表)

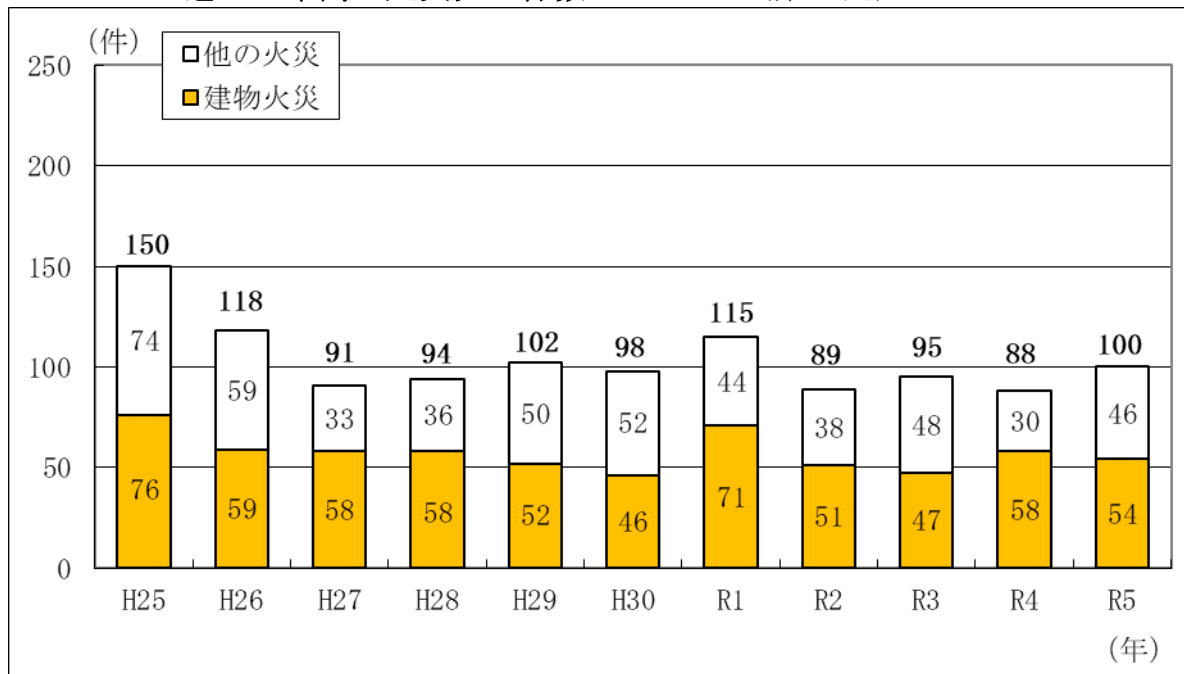
比較 区分		令和5年	令和4年	比較	過去10年平均	比較
		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
出火件数(件)		100	88	12	104	△4
火災 種別	建物火災	54	58	△4	58	△4
	林野火災	1	1	0	4	△3
	車両火災	17	12	5	12	5
	その他の火災	28	17	11	31	△3
焼損 面積	建物(㎡)	2,110	1,680	430	2,267	△157
	林野(a)	5	1	4	23	△18
損害額(千円)		220,297	172,578	47,719	215,884	4,413
死傷者 (人)	死者	1	1	0	3	△2
	負傷者	15	13	2	17	△2

備考 △印は、減を示す。

1 出火件数

出火件数の100件を火災種別ごとにみると、建物火災が54件（54%）と最も多く、以下その他の火災28件（28%）、車両火災17件（17%）、林野火災1件（1%）の順となっている。（第1表、第1図）

過去10年間の火災発生件数 (第1図)



2 損害額

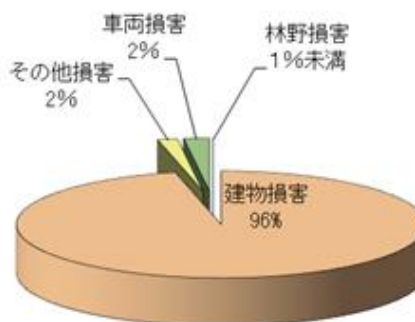
火災による損害額2億2,029万7千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の2億1,238万4千円で全損害の96%を占め、以下その他損害の447万6千円、車両損害の343万6千円の順となっている。（第2表、第2図）

損害額2億2,029万7千円は、前年の1億7,257万8千円と比較すると4,771万9千円の増加であり、過去10年平均の2億1,588万4千円より441万3千円増加している。（第1表）

【損害額の内訳】 (第2表)

損害種別	損害額 (千円)
建物損害	212,384
その他損害	4,476
車両損害	3,436
林野損害	1
合計	220,297

(第2図)

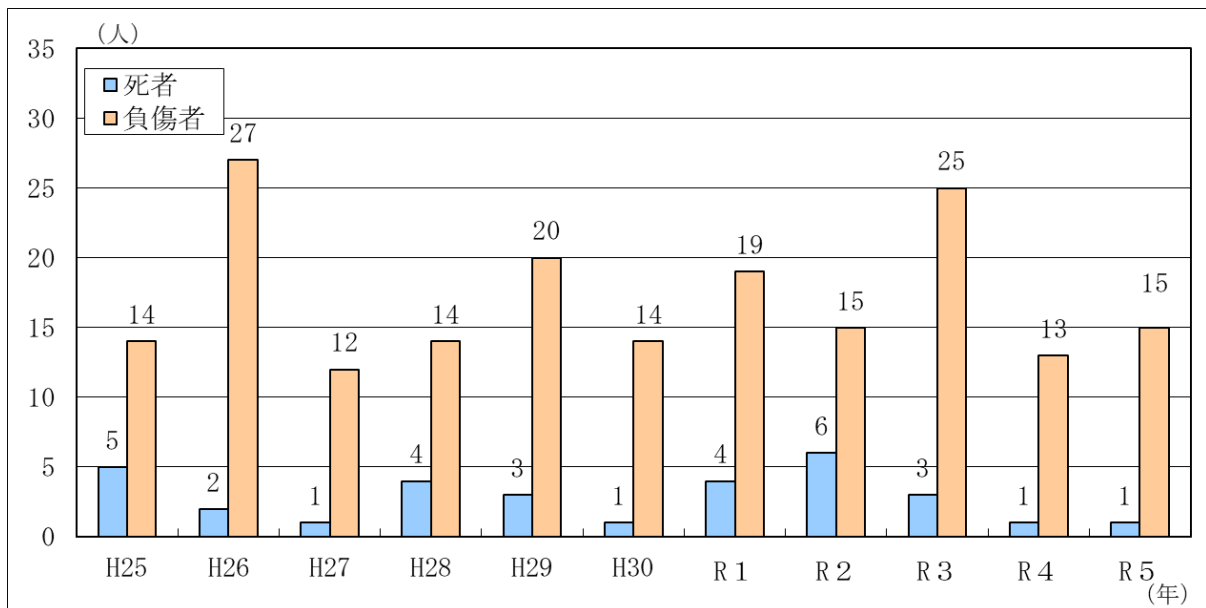


3 死者・負傷者

火災による死者は1人で、前年と同数であり、過去10年平均の3人より2人下回っている。

また、火災による負傷者は15人で、前年の13人と比較すると2人増加しており、過去10年平均の17人より2人下回っている。(第1表、第3図)

過去10年間の死者・負傷者の発生状況 (第3図)



4 出火原因

出火件数100件の主な出火原因をみると、「たき火」が13件(13%)と最も多く、以下「たばこ」が9件(9%)、「放火・放火の疑い」が8件(8%)の順となっている。(第3表、第4図)

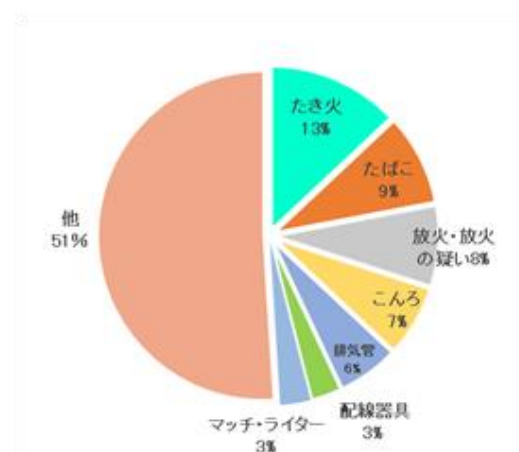
【主な原因別件数】 (第3表)

区分	令和5年 (件)	令和4年 (件)	比較 (件)
たき火	13	4	9
たばこ	9	6	3
放火・放火の疑い	8	9	△1
こんろ	7 (3)	7 (2)	0
排気管	6	7	△1
配線器具	3	2	1
マッチ・ライター	3	0	3
他	51	53	△2
合計	100	88	12

備考1 △印は、減を示す。

2 こんろの()内は、天ぷら油火災を示す。

(第4図)



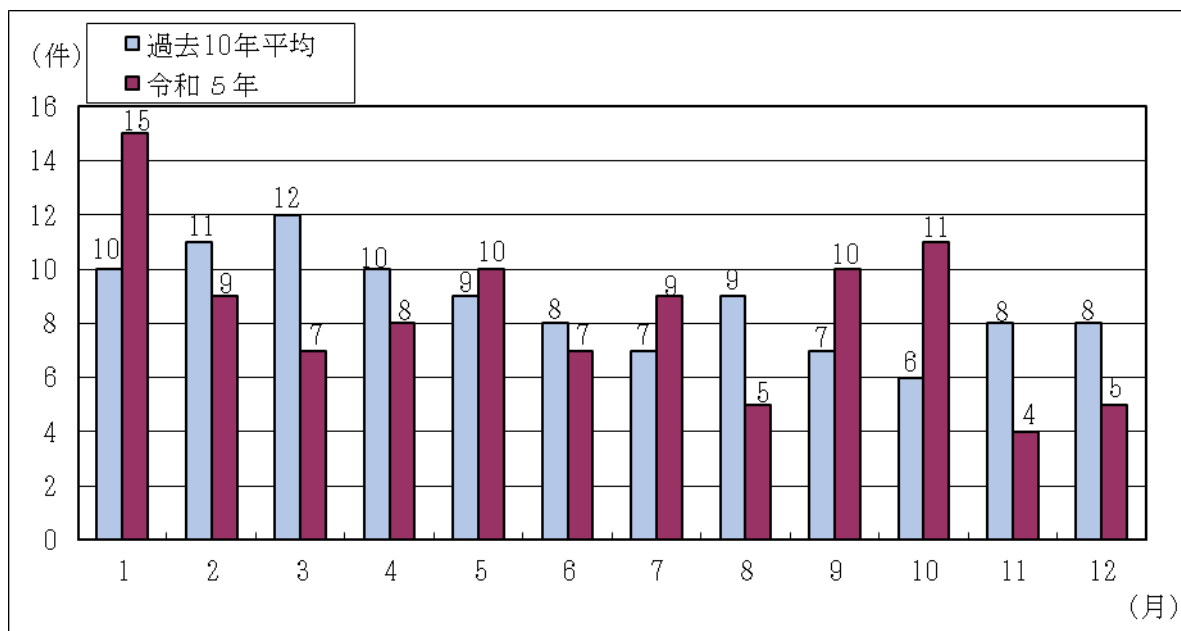
5 月別出火状況

出火件数 100 件を月別にみると、1月が 15 件（15%）と最も多く、続いて 10月が 11 件（11%）、5月及び9月が 10 件（10%）の順となっている。

（第 5 図）

月別出火件数

（第 5 図）



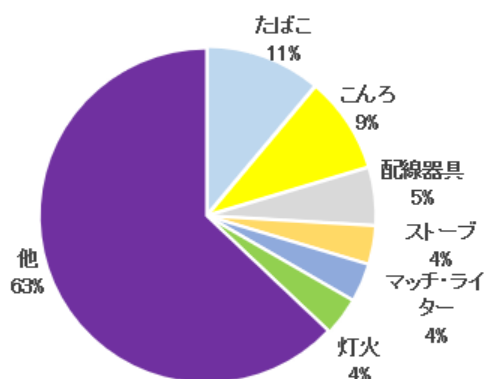
6 建物火災の状況（主な出火原因）

建物火災 54 件の主な出火原因別をみると、「たばこ」6 件（11%）が最も多く、以下「こんろ」5 件（9%）、「配線器具」3 件（5%）の順となっている。（第 4 表、第 6 図）

【主な原因別件数】（第 4 表）

出火原因	出火件数 (件)
たばこ	6
こんろ	5
配線器具	3
ストーブ	2
マッチ・ライター	2
灯火	2
他	34
合計	54

（第 6 図）



救急の概況

令和5年中の救急出場件数は19,081件で、搬送人員は17,591人であった。

前年と比較すると出場件数で1,416件、搬送人員は1,337人の増加であった。

種別内訳では、急病が13,163件(69%)で最も多く、以下一般負傷が2,556件(13%)、交通事故が1,090件(6%)の順となっている。増加したものは、自然災害、交通事故、労働災害、運動競技、一般負傷、自損行為、急病及びその他で、減少したものは、火災、水難及び加害であった。(第1表)

【救急出場状況表】

(第1表)

比較 区分		令和5年	令和4年	比較	過去10年平均	比較
		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
救急出場件数		19,081	17,665	1,416	16,170	2,911
搬送人員		17,591	16,254	1,337	14,939	2,652
種別内訳	火災	38	44	△6	44	△6
	自然災害	3	1	2	2	1
	水難	4	13	△9	4	0
	交通事故	1,090	1,050	40	1,194	△104
	労働災害	185	173	12	174	11
	運動競技	133	60	73	97	36
	一般負傷	2,556	2,401	155	2,085	471
	加害	42	57	△15	54	△12
	自損行為	200	180	20	176	24
	急病	13,163	12,135	1,028	10,894	2,269
	その他	1,667	1,551	116	1,446	221

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場状況

月別救急出場件数は、7月が1,887件と最も多く、4月が1,385件と最も少なかった。1か月の平均は1,590件で、1日平均52件となっており、28分に1件の割合で出場したことになる。(第2表)

搬送人員では、7月が1,744人と最も多く、2月が1,274人と最も少なかった。1か月の平均は1,466人で、1日平均48人となっており、市民22人に1人が救急車で搬送されたことになる。(第3表)

【月別救急出場件数】

(第2表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
1月	6			77	11	4	258	3	21	1,157	151			33	1,721
2月				74	10	6	213	2	18	947	106			14	1,390
3月	1			92	13	7	217	2	14	936	114			17	1,413
4月	7		1	107	12	12	191	8	14	917	100			16	1,385
5月	4		1	84	10	12	190	5	12	963	121			25	1,427
6月	2	3		84	17	12	201	5	14	1,058	105			22	1,523
7月	5		1	99	33	18	232	4	14	1,332	115			34	1,887
8月	3			94	45	15	201	3	21	1,346	112			41	1,881
9月	2		1	111	10	17	201		24	1,170	125			33	1,694
10月	5			90	10	17	214	3	13	1,089	86			24	1,551
11月	1			94	7	10	215	3	21	1,061	118			23	1,553
12月	2			84	7	3	223	4	14	1,187	111			21	1,656
合計	38	3	4	1,090	185	133	2,556	42	200	13,163	1,364	0	0	303	19,081

【月別搬送人員状況表】

(第3表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
1月	1			65	11	4	244	3	19	1,063	151				1,561
2月				73	10	5	196	2	14	868	106				1,274
3月				88	12	7	204	1	10	863	114				1,299
4月	3		1	104	12	12	185	7	10	858	100				1,292
5月				81	10	11	174	4	9	923	120				1,332
6月	1			76	16	11	188	5	13	1,003	105			1	1,419
7月	2			93	33	17	215	4	7	1,258	115				1,744
8月	1			81	41	14	183	3	16	1,260	112			1	1,712
9月	2		1	112	10	17	188		19	1,092	125			1	1,567
10月	2			88	9	15	199	3	9	1,019	86				1,430
11月				87	7	10	205	2	14	988	118				1,431
12月	2			84	7	3	212	4	10	1,097	111				1,530
合計	14	0	2	1,032	178	126	2,393	38	150	12,292	1,363	0	0	3	17,591

救 助 の 概 況

令和5年中の救助出動件数は289件で、救助人員は159人であった。

前年と比較すると出動件数は3件、救助人員は25人の増加であった。

過去10年間の平均出動件数は173件で、令和5年と比較すると116件の増加であった。

種別内訳からみると、建物等による事故が全体の約36%にあたる103件を占め、続いてその他の事故が99件（約34%）となっている。（第1表）

【救助出動状況】

（第1表）

区 分		比 較		過去10年平均 (C)	比 較 (A)-(C)
		令 和 5 年 (A)	令 和 4 年 (B)		
救 助 出 動 件 数		289	286	173	116
救 助 人 員		159	134	93	66
種 別	火 災				
	建 物	2	3	5	△ 3
	建 物 以 外	1		1	
	交 通 事 故	60	50	46	14
	水 難 事 故	8	16	5	3
	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	9	1		9
	機 械 に よ る 事 故	2	7	4	△ 2
	建 物 等 に よ る 事 故	103	97	57	46
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	5	4	3	2
	破 裂 事 故				
内 訳	そ の 他 の 事 故	99	108	52	47

備考 △印は、減を示す。

月別救助出動状況

月別出動件数では、1カ月の平均は約24件であり、5月、7月、8月、9月及び11月が27件と最も多かった。その反面、10月は18件と最も少なかった。(第2表)

【月別救助出動状況】

(第2表)

種別 月別	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1月			6			1	9			9	25
2月			4				12			8	24
3月			3	1			12			7	23
4月			3	2			6			11	22
5月	1	1	6	1			5	1		12	27
6月			3		9		3			8	23
7月			5	1			15			6	27
8月			8	1			9			9	27
9月	1		5	1			8	2		10	27
10月			7			1	3			7	18
11月			5				14	1		7	27
12月			5	1			7	1		5	19
合計	2	1	60	8	9	2	103	5		99	289